

テーマを決めかね、師走として今年を顧みても適当なものが見つからない。丁度二百年前、一茶は一年の身辺雑記や句をまとめたというのに。「めでたさも中くらないおらが春」かあ……。
ん、まてよ。一茶？ 俳諧？
そうだ、レンガにしよう！

俳諧と連歌

ということ、今回は古河とレンガ「煉瓦」じゃなく「連歌」について述べたいと思います。

その前に、「俳諧(俳諧)」について。そもそも「滑稽」を意味し、広義には連歌、紀行文、和詩などで滑稽味をもつ文学の総称を、狭義には諧謔性の強い連歌「俳諧之連歌」をさします。
松尾芭蕉や与謝蕪村、小林一茶



▲満福寺の兼載墳

らに代表されるように、俳諧は近世を通じて盛行しました。ちなみに、よく知られる芭蕉らの句は厳密にいえば「俳句」ではなく、「俳諧之連歌」の「発句(最初の句)」です。発句を完全に独立させ「俳句」として確立したのは、明治になってからのことです。

連歌とは？

一方、俳諧の生みの親といえる連歌とは、長句(五七五)と短句(七七)を交互に連ねていくものです。一人で詠むこともありすが、基本的には二人以上で即興的に歌を詠み連ねていきます。

その起源は『日本書紀』に登場する日本武尊と乗船人との唱和、あるいは『万葉集』巻之八の大伴家持と尼との唱和にあるとされますが、二句唱和から次第に三句以上連ねるようになり、鎌倉時代後期には百句続ける「百韻」に定着しました。

あわせて「式目」とよばれる規則も整えられていき、南北朝時代の二条良基らにより伝統的な和歌

的情趣に重きを置いた有心連歌が成立。さらに心敬・一条兼良らを経て、戦国時代初期の宗祇・兼載らにいたり、幽玄で抒情に富んだ文芸として大成され、中世文芸の主流となっていきました。

連歌師・兼載、古河に没す

さて、前項に登場した兼載は「けんざい」とも言われますが、会津の猪苗代家の出身で、心敬に師事して連歌を学び、三十八歳の若さで連歌師最高の栄職である北野連歌会所奉行となります。また、宗祇とともに准勅撰『新撰菟玖波集』を編さんしました。

そんな当りきつての連歌師・兼載が古河に来訪します。名医・田代三喜に中風の治療を求め、また古河公方・足利政氏の招きもあつたようです。治療の傍ら、歌論書



▲史蹟古河城桜門址碑 裏面に兼載と桜町の由来が記されている

や小句集を献ずるなど、公方と交歓した様子もうかがえ、古河の地で連歌会が開かれていたのは想像に難くありません。しかし、その翌年、永正七(1510)年に没。野渡の満福寺に葬られ、遺言により墓の印として桜の木を植えたといわれています。

「桜町」の由来

ところで、市内の桜町の名は兼載に由来します。こよなく桜を愛した兼載は、公方から拝領した邸に多くの桜を植えたといわれ、後世、その邸跡周辺を「桜町」と呼ぶようになったとされます。

兼載ゆかりの古河で連歌を

連歌という伝統的文芸と意外な関わりを持つ古河。たしかに式目はちよつとややこしいですが、まずは遊び感覚で、家族や友人と言葉や句を連ねてみてはいかがでしょう？ 共同で創りあげる文芸なんて、ちよつとすてきですよ。

古河文学館学芸員 秋澤正之

【一般書/古生物】 恐竜・古生物ビフォーアフター

土屋健 著

あれ？ いつの間にこんな姿に？ 研究の進歩で変わった、恐竜たちの30の物語。

1970年代～90年代の書籍をピックアップし、当時の典型的な恐竜イメージと最新情報の違いをイラストとともにまとめる。

出版社…イースト・プレス

【絵本】

プールのひは、おなかいたいひ
ヘウォン・ユン 作

おながが痛くて、水泳教室を見学ばかりしている女の子。先生にだっこしてもらい、勇気を出して水に入ると…。苦手を克服した子どもの成長を描いた絵本。

出版社…光村教育図書

図書館の本棚から



三和図書館

【一般書/小説】

織田一の男、丹羽長秀

佐々木功 著

信長の友にして、誰よりも織田家に尽くした仁将、丹羽長秀。その右筆・太田牛一は、長秀の記をひそかに残そうとする。本能寺の変で長秀は、ある秘策を立てていた…。「信長公記」を編さんした右筆の視点で描く歴史絵巻。

出版社…光文社

【児童書/読み物】

ぼかりの木

こうだゆうこ 作

公園にある、でっかいクスノキの下にいて、誰もいないのに、軽く、ぼかりって感じで、たたかれることがある。ある日、勇太がクスノキに登ると、小さな女の子があらわれて…。

出版社…学研プラス

1956 昭和31年



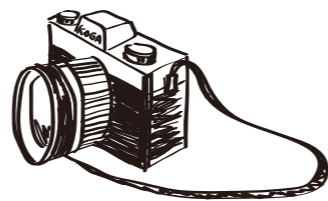
提供：鈴木路雄氏

昭和31年の冬に撮影された横山町の柳通りです。提灯竿もみまつの櫓も組み終わり、心を躍らせる市民が往来しています。

提灯竿もみまつりならではの風景は今も昔も変わりません。

【募集】このコーナーに掲載する昔の総和地区の写真を探しています。お持ちの人は☎シティプロモーション課(Tel.92-3111)までご連絡ください。

古河 今昔物語 Time Travel Photograph



2019 令和元年

